

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



なごや
ちくさ
WEEKLY

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年 8月24日
例会日 火曜日 12:30
例会場 愛知厚生年金会館
事務局 〒464 千種区池下一丁目4番18号
井上ビル4F D号
tel 763-5110
会長 加藤大豊

見つけよう 奉仕の新生面
Discover a New World of Service

No.50

1984-85年度 RI 会長 カルロス・カンセコ

第144回例会 昭和60年6月25日(火) 雨

◇“奉仕の理想”

◇出席報告

会員 55(56)名 出席41名
出席率 74.55%
前回 6月18日(修正出席率) 98.18%

make up

安藤君(6/24 中), 深見君(6/19 南), 古川君(6/18 名東), 橋本君(6/24 中), 原君(6/20 東南), 林君(6/24 空港), 河合君(6/22 一宮), 水野(健)君(6/24 空港), 成田君(6/17 中), 西川君(6/22 守山), 笹野君(6/19 和合), 鈴木(正)君(6/19 和合), 武内君(6/19 和合)

◇ビジター数 41名

◇ニコボックス

水野(民)君(先回のクラブアセンブリー, お先に失礼致しました。最終例会に出ました。一年, 加藤会長始め理事幹事各位, ご苦労様でした。プール開き6月15日にしました。ご利用の程。自動車学校にクレスト56台を入れ, 今日その安全祈願式を行いました。卒業生も5万人を突破した喜び), 宮尾君(本年度理事役員の方々御苦労様でした), 加藤(内)君(今日で年度の最終例会を無事終了する事が出来ます。理事役員メンバーの皆様の御協力に感謝申し上げます), 菊地君(本年度加藤会長以下役員委員長の皆様, 大変御苦労様でした。次年度もよろしく), 林君(ホームクラブ長らく御無沙汰致しました), 西川君(今年度最後の例会にあたり, 充分お役目を果たすことができず残念でした。又, 前回夜間例会を欠席致しましたので), 和田君(今年度最終の例会にあたり皆様の協力を得, 無事親睦活動を行えました事に感謝致します。ゲスト池田君を御紹介申し上げます。次週よりよろしくお願い致します), 竹内君(一年無事終える事ができました), 安藤君(ニコボックス1年間有難うございました。麻雀会取り切り戦優勝して), 西村君(第5回麻雀会に優

勝させて頂きまして, 併せて来年度麻雀会幹事をする事になりました), 水野(健)君(バッチを忘れました。1年間間に合わない副幹事でした), 大口君(本年度最終例会を迎えるに当たって), 新美君(一年間ご協力有難うございました), 松藤君(太田さん, 永井さん先日は有難うございました), 谷口君(一年間幹事を無事に務める事ができました。これも一重に皆様の御厚情のおかげです。心から感謝を申し上げます)

◇谷口幹事報告

1. 本日例会終了後, 今年度最後の理事役員会を行いますので, 理事役員の方は2F橋の間にお集り下さい。
2. ロータリーの適用相場が現在258円ですが, 7月1日より249円に変更されます。
3. 過日, 当クラブより茶屋ヶ坂公園に桜の木を寄贈致しました処, 名古屋市長さんより感謝状を頂きましたのでご披露申し上げます。

◇宮尾次期幹事報告

1. 10月26日~28日に行われます次年度地区大会の案内が, ホストの豊橋クラブよりきておりますので, 7月8日までに事務局へ参加, 不参加のご返事をお出し下さい。

◇加藤大豊会長挨拶

今日で最後の会長挨拶となりました。

「光陰矢のごとし」と申しますが, 会長に就任致しまして1年, 本日ここに千種ロータリークラブの会長としての責任を微力ではございましたが, 努め終わらせて頂きましたことは, 一重に水野, 竹内先輩会長のご指導はもとより, 理事役員を始め千種ロータリークラブの発揚を願うメンバー諸兄の深い御理解と御熱意の賜ものと心から感謝申し上げ, 敬意を表します。

尚, 本年度実施出来ました親睦委員会を中

~~~~~ 歌手・三条マリさんを迎えて ~~~~~



最終例会を飾り、「夜の祇園」でデビューしたコロンビアの歌手三条マリさんを迎え、保坂哲男さんのピアノ演奏によりシャンソン「愛の讃歌」「サントワ・マミー」から演歌に至るまで、すてきな歌を披露して頂きました。昼間の例会の為、グラスを片手に聞けないのがとても残念でした。

◇次回例会(7月2日)

分区代理訪問の為、講演はございません。  
第1回クラブアゼンブリー

心とする新しい同好会の発足、歌の会、グルメ喰べ歩き会、写真会と特に麻雀会の活性化等、色々と御骨折を頂きました各同好会の幹事の皆さんに、改めて厚く御礼申し上げます。

「知識と勇氣は偉大な仕事を造る」「他人の善行を喜ぶ心はその善行に優る」とも言われます。次回例会よりバトンタッチする菊池新会長は、満を持してこの1年、ロータリーに付いて良く勉強されてみえます。きっと次年度の良きリーダーとして、一層のクラブ向上を計られ、奉仕の理想に向い、益々、結束発展することでしょう。

私の提唱致しました本年度当クラブのテーマは“アクション”という事で、新しい事業に関し、多少の余曲折があったかも知れませんが、クラブの飛躍と前進の為のステップと御理解を頂き、ロータリアンの友情を持って御容赦の程をお願い申し上げます。

又、全メンバー諸兄の御協力に対し満足の敬意を重ねて表し、厚く御礼申し上げ、会長任期満了の挨拶と致します。本当に1年間有難うございました。

◇愛知厚生年金会館に一年間のお世話を表し、加藤大豊会長より謝礼が渡されました。

◇1985~1986年度理事役員・委員

|                  |         |           |         |
|------------------|---------|-----------|---------|
| 会 長(理事)          | 菊 地 昭 元 | 理 事(社会奉仕) | 大 谷 和 雄 |
| 会長エレクト(理事)       | 加 藤 敏 昌 | 理 事(国際奉仕) | 深 見 章   |
| 副 会 長(理事・クラブ奉仕)  | 秋 山 茂 則 | 理 事(職業奉仕) | 佐 野 寛   |
| 幹 事(理事)          | 宮 尾 紘 二 | 理 事(会 計)  | 鈴 木 正 男 |
| 副 幹 事            | 青 山 敏 郎 | 理 事(直前会長) | 加 藤 大 豊 |
| S A A            | 和 田 正 敏 | 理 事(直前会長) | 谷 口 暢 宏 |
| 副 S A A (クラブ奉仕副) | 堀 江 宏 輝 |           |         |

| 委員会           | 委員長       | 副委員長      | 委 員                             |
|---------------|-----------|-----------|---------------------------------|
| 出 席           | 大 口 弘 和   | 西 川 豊 長   | 深 見 章・林 淳 三・太 田 茂               |
| 職 業 分 類       | 松 居 敬 二   | 三 輪 康     | 谷 口 暢 宏                         |
| 会 報           | 木 全 昭 二   | 永 井 正 義   | 原 安 藤 敏 之 助                     |
| 親 睦 活 動       | 小 坂 井 盛 男 | 原 富 士 雄   | 池 宗 野 村 義 雄・手 島 茂 明             |
|               |           |           | 西 村 禎 二・野 村 義 雄・齊 藤 康 二・鈴 木 正 男 |
|               |           |           | 池 田 隆                           |
| 雜 誌           | 石 田 耕 嗣   | 矢 野 勝 久   | 加 藤 正 義・林 淳 三                   |
| 會 員 選 考       | 新 美 敢 敢   | 安 藤 敏 之 助 | 堀 江 宏 輝・三 輪 康 三                 |
| 會 員 増 強       | 菅 原 宣 彦   | 水 野 賀 統   | 堀 場 利 幹・河 合 義 雄・大 口 和 雄         |
| プ ロ グ ラ ム     | 浅 井 誠 寿   | 久 保 田 皓   | 小 坂 井 盛 男・黒 野 貞 夫・武 内 清 男       |
| 広 報           | 武 内 清 宗   | 小 池 内 真 三 | 古 川 勝 已・松 居 敬 二・杉 山 貞 男         |
| ロ ー タ リ ー 情 報 | 加 藤 大 豊   | 竹 内 真 三   | 水 野 民 也                         |
| S A A         | 和 田 正 敏   | 堀 江 宏 輝   | 松 藤 国 弘・永 井 正 義                 |
| ニ コ ボ ッ ク ス   | 成 田 良 治   | 尾 関 武 弘   | 黒 須 一 夫・佐 野 寛 三                 |
| 職 業 奉 仕       | 佐 野 寛 雄   | 青 山 敏 郎   | 河 合 美 雄・黒 野 貞 夫                 |
| 社 会 奉 仕       | 大 堀 谷 和 雄 | 笹 野 義 春   | 木 全 昭 二・西 村 禎 二・太 田 茂           |
| 青 少 年 奉 仕     | 堀 場 利 幹   | 寺 澤 竹 三 郎 | 橋 本 美 義 敢・西 川 勝 已               |
| 国 際 奉 仕       | 深 堀 章     | 手 島 茂 明   | 古 川 勝 已・石 田 耕 嗣                 |
| ロ ー タ リ ー 財 団 | 松 藤 国 弘   | 鈴 木 正 敏   | 加 藤 正 義・成 田 良 治                 |
| 米 山 奨 学 会     | 水 野 民 也   | 鈴 木 正 敏   | 加 藤 正 義・成 田 良 治                 |
| 計 画           | 鈴 木 正 敏   | 小 林 正 幸   | 橋 本 義 郎                         |